

「みちのくウェットラボ道場」は東日本大震災より復興した東北の活気を全国の先生方に届けたい、東北からも日本の獣医業界を盛り上げたい、という思いのもと、東北出身もしくは東北に所縁のある獣医師が中心となり、昨年立ち上がりました。そして昨年12月には「第1回みちのくウェットラボ道場」と題し、現在日本で行われる機会の少ない生体を用いた実習（ウェットラボ）を実施いたしました。おかげさまで、全国より多くの先生方にご参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。

問題点がクリアになる！ 視野が広がるベーシック眼科学！ オープンスタイルの臨床眼科実習～検査から手術基本操作まで～

本当にありがとうございます。

本年も「第2回みちのくウェットラボ道場」として、実習セミナーを開催します。本年も眼科実習を行う予定ですが、昨年実施していない新たな実習を計画しています。したがって昨年参加された先生方にも十分楽しんでいただける内容であると確信しています。また今年は各実習セクションに講師1名、アシスタント2名を配して、実習サポート体制をより強化します。昨年に比べ、実習参加可能定員を増やしますので、より多くの先生方に参加いただけます。昨年と同様に、セミナー前日にはプレワークショップを、終了後には懇親会も企画しています。ここでは参加者同士や講師陣との交流だけでなく、みちのくの味覚も存分に楽しんで頂ければと思います。今年の冬も熱い道場となる予定です。皆さんのみちのくへのお越しを心からお待ちしております。

代表 小笠原聖悟



比較眼科の臨床眼科専門医

梅田裕祥



比較眼科の臨床眼科専門医

辻田裕規

第二回

みちのく ウェット ラボ道場



比較眼科の臨床眼科専門医

藤井裕介

比較眼科の臨床眼科専門医

小笠原聖悟

2018/12/12(水) 18:00 開始予定 プレワークショップ

2018
12/13(木) 時間：9:00～16:30
講義3コマ、実習4コマ(1コマ40分)
場所：TKP 仙台南町通カンファレンスセンター

参加費

- ・実習+講義(院長)： ¥40,000
- ・実習+講義(勤務医)： ¥30,000
- ・講義のみ(ただし実習見学可能)： ¥10,000

※申込が12名になり次第締切を終了とさせていただきます。

開催場所

〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央3丁目6-10 仙台南町通ビル

申込先

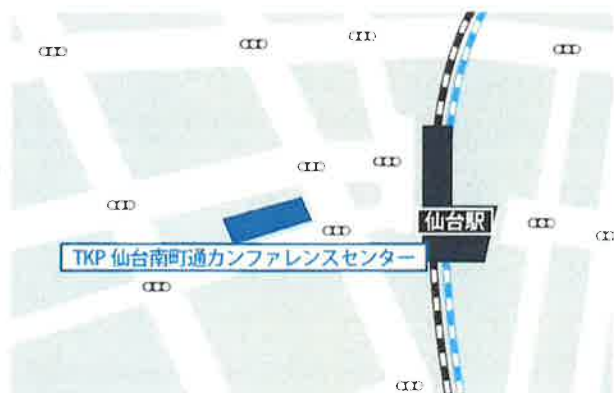
ホームページより申込フォームに記入

みちのくウェットラボ道場 検索



お問合せ

info@michinoku-wetlabo.com 道場実行委員 山下 洋平



問題点がクリアになる！視野が広がるベーシック眼科学！ オープンスタイルの臨床眼科実習～検査から手術基本操作まで～

招聘専門医

梅田裕祥先生 横浜どうぶつ眼科(神奈川県)

藤井裕介先生 アセス動物病院(宮城県)

辻田裕規先生 どうぶつ眼科専門クリニック(大阪府)

小笠原聖悟先生 小笠原犬猫病院(青森県VAイデックスラボトリーズ)

大会の特徴

- 1 日で眼科検査法と手術の基礎から応用まで学べる
- 眼科専門医 3 名による講義と実習
- 少人数制の実習スタイル
- 臨床病理専門医による眼科細胞診の評価法を学べる
- 実習参加ができなくとも、見学が可能
- 仙台グルメ、牛タンの他、仙台冬の味覚“セリ鍋”などが味わえる懇親会
- 前日にみちのくの味覚とともに、プレワークショップを開催

大会の概要

みちのくウェットラボ道場では眼科実習に関しまして昨年度と本年度 2 年分のプログラムをご準備しています。2 年目である今年のプログラムは、昨年より更にパワーアップしてお届けします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

本年度は午前講義、午後実習となります。午後の実習が 4 コマ、その実習のための座学として午前に 3 コマ用意しております。午前の講義への参加人数は 112 名を予定しておりますが、眼科実習は 52 名限定となります。先着順になりますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

ただ講義を受講された方はたとえ実習に参加できなくとも実習を見学する事が可能となります。

みちのくウェットラボ道場実習内容

時間	受講人数	セッション(※1)	実習内容(※3)
40分	13名	眼科外科手技(※2)	眼瞼内反症を想定した眼瞼整復術 眼瞼腫瘤切除を想定した楔状切除及びエイトスーチャー
40分	13名	眼科検査手技 1	眼超音波検査法
40分	13名	眼科検査手技 2	眼底検査法(直像鏡、倒像レンズ、眼底カメラの使用法)
40分	13名	眼科検査手技 3	眼科細胞診

※1) 13名1班となり各セッションを40分ずつでローテーションしていただきます。

※2) 眼科外科手技で使用使用する持針器、鑷子、鋏、拡大鏡を各自ご持参いただきますのでご準備をお願い致します。

※3) 実習内容は変更の可能性もありますが、その際は事前にアナウンスさせていただきます。